



ミニ四駆競技会 運営マニュアル

タミヤのミニ四駆を使った競技会の運営マニュアルです。商店街のイベント、学園祭などで初めて競技会を運営する方でも大丈夫！この運営マニュアルを参考にして、安全で楽しい競技会を開催してください！

無断転載を禁ず

タミヤでは各種イベントにミニ四駆用サーキットの無料レンタルサービスを行っています。

■お貸しするサーキット

ジャパンカップ・ジュニアサーキット(最大3セット)に加え、スロープやバンクの特殊セクション、のぼり等の装飾品のレンタルも可能です。

■費用

サーキットのレンタルは無料ですが、往復分の送料のみご負担願います。詳しい情報は以下のページでご確認ください。ミニ四駆サーキットレンタルサービス 詳細情報ページ <http://www.tamiya.com/japan/cms/serviceregulation/408-crent.html>

前日までの準備

■参加者の募集

大会内容が決まったら、参加者を募集します。WEB、ポスターの掲示やチラシの配布等で行いますが、開催の約1ヶ月前から告知を始めるとう良いでしょう。

■告知内容に必要な事項

告知にあたっては以下のような内容を掲載します。

- ・日時
- ・場所
- ・雨天時の開催の有無
- ・交通アクセス
- ・申込方法(事前/当日受付)
- ・参加費の有無
- ・競技会の規則
- ・レース方式
- ・マシン持参の有無など

ーポスターの例ー

ミニ四駆競技会開催!!

○年○月○日(日曜日) 10:00集合
○○町公民館駐車場(雨天中止)

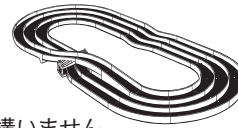
- 当日の朝10:00から受付開始。会場に集合して下さい
- 先着100名まで参加可
- 参加無料
- マシンは必ず持参して下さい
- 上位入賞者には豪華賞品プレゼント

MAP
駅から徒歩10分
○○中学校前

夏祭り実行委員会

■サーキットの仮組み

ミニ四駆サーキットは、前日までに一度仮組みを行います。競技会を開催する場所で組むのが最良ですが、別の場所でも構いません。開催場所、仮組みをする場所ともに、なるべく平らな場所に設置します。組み立てたらコース同士のジョイント部に市販の養生テープ等を貼って外れないよう補強をします。仮組みができたなら試走して走行に支障がないか確かめます。コースレイアウトはレイアウト例を参考になさってください。



■用品の準備

前日までに、必要な物はすべてそろえておきます。競技会当日に足りない物があると進行に支障が出てしまうので、チェック用のリストを作成するなど、準備忘れのないようにします。

- ミニ四駆サーキット・透明テープ
- サーキットまわりを囲むフェンス
- エントリー用紙、エントリーカード(★1)
- 筆記用具
- 賞品(★2)
- プログラム案内表
- 対戦表(トーナメント表等)
- 机(受付用、車検用など)
- ストップウォッチ2~3ヶ
- 放送施設(★3)
- ゴミ箱
- 車検用治具(★4)
- 装飾品(★5)

★1: エントリー用紙 競技会をスムーズに進行させるために名前や順位を書き込む表を用意します。(例: 下部参照) 準備期間に余裕があればエントリーカードを用意しても良いでしょう。A6サイズくらいの用紙に左下のような記入欄を設け、名前などを書き込むようにします。競技会終了後は参加者に持ち帰ってもらえば記念になるので喜ばれます。

ーエントリーカードの例ー

○月○日	大会	
エントリーナンバー	受付印	車検印
なまえ		
勝ったらスタンプをもらおう!		
○	○	○

ーエントリー用紙の例ー

	なまえ	予選1	予選2	決勝	順位
1					
2					
3					
4					
5					

★2: 賞品 上位入賞者、ブービー賞、参加賞、抽選会(詳細別記)用などの賞品を用意します。そのイベントのオリジナリティを出した賞を用意すると喜ばれます。

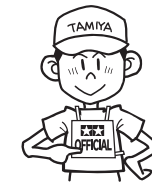
★3: 放送施設 簡易型のカラオケセットやラジカセ(マイク付き)でも良いので放送施設は必要です。競技会を盛り上げるアップテンポのBGMがあると良いでしょう。競技会の最中は、マイクで実況を行い、会場内を盛り上げます。

★4: 車検用治具 マシンの改造が規定に合っているかどうかをチェックするための道具です。簡易車検ゲージなどを製作しておけば、カンタンにチェックが可能ですが、ノギスなどでも代用可能です。(詳しい規定につきましては <http://www.tamiya.com/japan/mini4wd/regulation.htm> をご参照下さい)



★5: 装飾品 会場の雰囲気明るくなるよう、横断幕(無料レンタルもごさいます)などで装飾します。競技会のタイトル看板やそのイベントのポスターなどを用意しても良いでしょう。

■スタッフ



スタッフは最低三人いれば、一人で何役も兼ねることができるので運営は可能です。運営に慣れていない場合はスタッフ人数を増やせば余裕ができます。参加人数が多いときは、スタッフ人数を増やして会場内の誘導を行うなど、混乱を防ぐようにします。

- スタッフ1/車検・選手整列・スターター・レース判定
- スタッフ2/司会進行・記録用紙記入
- スタッフ3/コースマーシャル(★)

★コースマーシャル マシンを目で追いかけて、コースアウトしたマシンや周回遅れになって追突されそうなマシン、その他コース上の障害になるもの(走行中のマシンから外れたパーツなど)を素早く排除します。あまり低年齢でなければ参加者に手伝ってもらっても良いでしょう。

またスタッフは、可能であれば揃いの服装などの目印(帽子、シャツ、バッジなど)をつけ、参加者から見て「スタッフだ」とわかりやすいようにします。



競技会当日

■ フリー走行 ■

装飾などの準備が整いコースも組み立てたら、受付開始時間まで参加者のフリー走行時間(コースを開放して自由にマシンを走行させる)としても良いでしょう。そのときはスタッフが整列係になって、走行順などで混乱のないようにします。
また、受付・車検とフリー走行を並行しても良いでしょう。

■ プログラム(進行) ■

次のような流れで進行します。
大きな紙や看板で会場内にプログラム表を掲示すると参加者にも予定時間がわかりやすくなります。

例	11:00	受付&車検開始	14:00	決勝競技開始
	12:00	開会式&ルール説明	14:30	表彰式
	12:30	予選競技開始	15:00	閉会式(抽選会)

■ 受付&車検 ■

受付場に参加者を整列させ、エントリー用紙に名前を記入します。選手にはエントリーカードを配布します。(エントリー用紙とエントリーカードには共通の通し番号を振っておくとレースのときのお呼出等に便利です)
同時に車検も行い、合格した選手にはエントリー用紙(またはエントリーカード)にスタンプを押したりサインペンでマークをつけたりします。ルールに、「タミヤ公認競技会規則」を適用する場合は、主に下記のポイントを確認すれば良いでしょう。

- モーターの種類
 - スイッチを入れて四輪駆動で動くこと
 - マシンの車体寸法
 - タミヤ製のマシン・パーツであること
 - ローラーが6個以内であること
 - 危険な改造がされていないこと
- (ビスの先がむき出しになっていないか等)



車検を行うとき、時間をかけ過ぎると他の選手の待ち時間が長くなってしまいます。例えば決勝に残ったマシンは再車検する等、予選前にはあまり時間をかけすぎないようにしたほうが良いでしょう。
タミヤ公認競技会規則の詳細についてはタミヤホームページをご覧ください。(http://www.tamiya.com/japan/mini4wd/regulation.htm)

■ 開会式 ■

開会式では、開会の挨拶の他に次の事柄などを参加者に伝えます。

★当日のプログラム 予選や決勝の方法、抽選会などのアトラクションをおこなう場合はその説明、全体の進行の予定時間など

★ルール説明 競技方法の説明

★観戦中の注意 競技中はコースに手や顔を近づけない、自分の持ち物のそばをはなれない、マシンを追って道路に飛び出さない、など

★会場の案内など 本部の場所、迷子の集合場所、お手洗いなど

★その他 ゴミの処分方法など

■ 予選・決勝競技 ■

選手を呼び出して競技を開始します。

ホイッスルやかけ声などの合図でマシンスタートします。走行させる選手はもちろん、観戦者にも聞こえるように大きな音(声)で合図します。決勝進出者が決定したら、名前を控えたりエントリーカードに決勝進出の印をします。

参加者が多いときは二次予選・三次予選と行えば良いでしょう。逆に少ない時は、予選回数を増やす・敗者復活戦を行う、またはフリー走行の時間をはさんだりしてあまり早く競技が終了しないようにします。

■ 表彰式 ■



競技終了後、上位3名や特別賞などあらかじめ決めておいた賞を表彰します。参加選手全員を集め、積極的に拍手をして盛り上げます。
優勝選手にインタビューをして、マシン製作の工夫点などを聞くと盛り上がります。

■ アトラクション ■

運営時間などに余裕があれば、競技会以外にも次のようなアトラクションを行うと会場が盛り上がります。

★オープンコース スペースやコースに余裕があれば、競技用のメインコースとは別に、一日中自由に遊べるオープンコースを設置すると喜ばれます。

★コンクールデレガンス カラーリングの美しさ、アイデア、改造などマシンの走行以外の部分を競います。コンクールデレガンスに参加す

るマシンを全員に見える位置に並べて何台かを選び、その場で表彰すれば良いでしょう。競技の前(マシンが汚れていない)に実施します。

★抽選会 表彰式終了後に行います。競技に参加しなかった観戦者や、決勝進出できなかった選手にも参加してもらおうと良いでしょう。開会式などで予告したり、プログラム看板に誰でも参加できる事を明記しておけば、観戦者や予選落ち選手を閉会まで会場にひきとめておく効果があります。

競技の種類

★勝ち抜き戦A

受付した順に選手を呼び出し、3人ずつで走行します。ホイッスル、かけ声等の合図でスタートし、ジュニアサーキットであればコースを3周してスタート地点に最初に戻ってきたマシンの勝ちです。勝った選手は二次予選・決勝と進んでいきます。最もシンプルなやり方です。

★勝ち抜き戦B

一定の予選時間を決め、選手は自由に参加の列に並びます。並んだ順にレースを行い(ルールは勝ち抜き戦Aと同じ)、勝った選手は二次予選に進んでいきます。時間内であれば一度負けた選手でも何回でも参加できるやり方です。

★タイムアタック

1~3人ずつ走行し、ストップウォッチ等でそれぞれのマシンタイムを計測します。全員走行し終えた時点で上位の10名程度が決勝進出。

安全のための注意

競技会の運営にあたって最も重要なことは、参加者や観戦者の安全管理です。下記が全てではありませんので、この他にも気づいたことがあれば注意を怠らないようにする必要があります。なおこのマニュアルを参考にお客様が開催されたイベントにおきまして、万が一事故等が発生した場合でもタミヤではその一切の責任を負いかねます。

★参加者がコース内に手や顔を近づけないように呼びかける

★参加者が会場内は走らないように呼びかける

★夏季の屋外イベントでは帽子や水筒の持参を事前に呼びかけたり、レース中も休憩をはさむ等、熱中症対策を心がける

★冬季のイベントでは日没時間を考慮する

★紛失のないように荷物の自己管理を呼びかける

★休日に開催の場合、救急当番医の連絡先を確認しておく

★事故や怪我などトラブルのないイベントを成功させましょう!